

VOL.15

## 職業について調べよう！

2015.1 更新

### ○職業とは…？

「職業」は、「個人が自分の生計を維持し、社会的役割をはたし、また、自分らしさをはっきりできるような、続けてたずさわる仕事」のことです。「職業」とは、世のなかが発達して仕事の数がどんどん増え、人によって、やる仕事や社会のなかで果たすべき役割がちがうようになってから、生まれてきた言葉なのです。 (ポプラ社『ポプラディア情報館 仕事・職業』より)

### ○概要を調べる \* 網掛けは児童コーナーの資料

#### ・ 25-6『ポプラディア情報館 仕事・職業』 ポプラ社 [2007]

→オールカラーでさまざまな職業について書かれている。「〇〇にかかわる仕事」とグループごとにまとめてあるので目次をみるだけでもその関連する職業を知ることができる。

また巻頭に、働くことはどういうことなのか、適性についての見極め方などの記載もある。

#### ・ 25-6『21世紀子ども百科 しごと館』 小学館 [2006]

→それぞれの職業にどのような人が向いているかということが書かれている。

さらに多くのカラーの写真が使われているのでそれぞれの職業がイメージしやすく、職業名の五十音順に並んでいるので調べたい職業が決まっている人には使いやすい。

#### ・ 25-6『はじめて知る みんなの未来の仕事』 学習研究社 [2008]

→それぞれの職業に就くにはどのような進路を選ぶ必要があるのかということが詳しく書かれている。また、この本の面白い点は、一つの環境にどのような仕事関わって成り立っているのかが絵で表現されているところである。たとえば、「小学校で働く人の中には教科専任の先生がいて、校長先生もいて、調理員もいる」という具合に絵で職業を探せる。

#### ・ 25-6『未来に広がる「福祉の仕事」8 「福祉の仕事100」ガイドブック』学習研究社 [2001]

→さまざまな職業が分野ごとにのっているが、特に福祉に関する仕事が多く書かれている。公的な仕事には㊦、民間企業・団体には㊧がついている。なるまでの流れ図も矢印などで表記されていてわかりやすい。

#### ・ Y14『新13歳のハローワーク』 村上龍/幻冬舎 [2010]

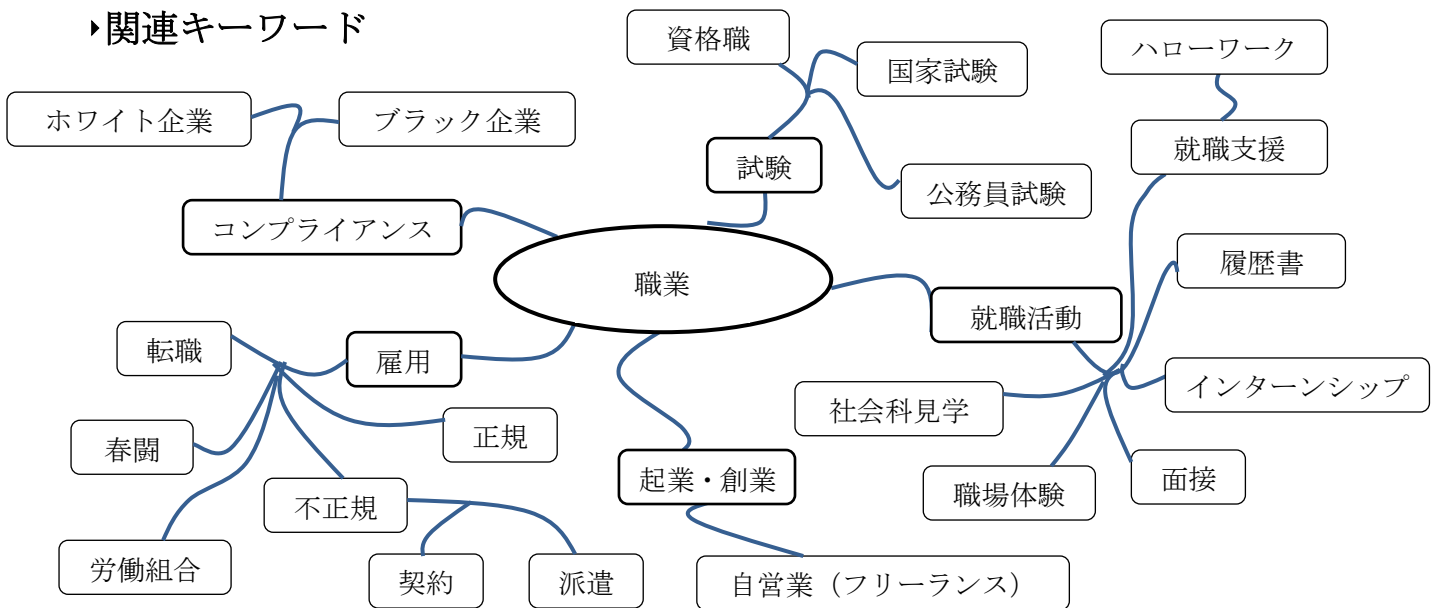
→2003年に刊行された中高生向けに様々な仕事の解説をした本、「13歳のハローワーク」に、さらに89の職業を追加。職業選択の幅を広げてくれる一冊。

#### ・ Y14『13歳の進路』 村上龍/幻冬舎 [2010]

→中学生でもわかるように書かれている学校選びに関する本。高校進学にあたって、なりたい職業が決まっている人はこの本がオススメ。それぞれの職業に就くために専門分野を学ぶことができる進学先の情報も満載。

## ○詳しく調べる

### ▶関連キーワード



### ▶児童・YAコーナーで探す

【 25-6 しごと 】【 Y14 進路 】

### ▶例えばこんな資料

・366.2 『新版 やりたい仕事がある！』 池上彰／小学館【2010】

→まずはどんな仕事に向いているのか自分のタイプが知ることができるチャートがある。  
業界ごとに見出し付き。

・159.7 『きらり10代！ワークメッセージ』 日本放送協会／旬報社【2008】

→その職業に就いたきっかけが書いてある本。何になりたいか決められないという人はぜひ、参考にしてほしい。NHKラジオ「きらり10代！」のコーナーを書籍化した本。

#### 制服から考える

・25-6 『おしごと制服図鑑』 講談社【2012】

→仕事の制服はあこがれ！！

自身の着るものにこだわる人はここから職業を探すのもアリかも！？！？

・25-6 『あこがれお仕事いっぱい！ せいふく図鑑』 学研マーケティング【2012】

→制服はもちろんのこと、仕事の内容まで知ることができる。また、制服のパーツひとつひとつ、説明が加えられている。日頃、気になっていたあの職業の制服のナゾが解けそう。

#### 調べたい業界が決まっている人は？

・25-6 『しごと場見学！シリーズ』（全7巻）ペリかん社

→その道のプロの経験談とともに書かれている。たくさんのコラムもあり、なかでも「こんな資格をもっていると有利！」はそれぞれの職業についてしっかり調べたい人にはお勧めだ。

「レストランで働く人たち」や「病院で働く人たち」など全7巻。

・25-6 『人気の職業早わかり！シリーズ』（全6巻）PHP研究所

→裏表紙にどのようなことがしたいかというクイズがあり、なりたい職業をさらに絞り込める。  
職場の絵があるので、普段どのような環境で仕事をしているのか一目でわかる。

・Y14『なるには Books シリーズ』ペリかん社

→なりたい職業がかなり具体的に決まっている人にはオススメ。その仕事のすべてが1冊にまとまっている。70種類以上の職種についての図書がでているので、かなりの職業を網羅<sup>もうら</sup>。

・Y14『知りたい！なりたい！職業ガイドシリーズ』ほるぷ出版

→どのような仕事内容なのか、今からできることはどのようなことか、など仕事ごとに一冊にまとめてある。漫画での説明もあるので読みやすい。

・Y14『5教科が仕事につながるシリーズ』ペリかん社

→国語・数学など科目ごとに関係のある仕事を紹介する本。「こんなところで活きている！」のコラムではその教科に関する色々な仕事があることがわかり、まだ何も決まっていな人にもオススメ！巻末に仕事一覧（五十音順）でどの教科に関する仕事なのかわかる。

伝統工芸の職業をくわしく調べる

・25-6『ポプラディア情報館 伝統工芸』ポプラ社 [2006]

→種類別と地域（都道府県）別に伝統工芸について調べることができる。

第一章では身近にある伝統工芸が絵で表されている。

・25-6『ふるさとの伝統産業シリーズ』（全13巻）太平出版社

→あまり新しくはないので白黒写真だが地域ごとに1冊ずつ、事細かに書かれている。

歴史や現状、問題についても書いてある。

・25-6『調べてみよう！日本の職人伝統のワザ』（全7巻）学研教育出版

→生活する上で日本ならではの食事、日用や行事で使う品々を説明されている。

こんなにも日本には伝統を受け継ぐ職人とモノがあるのか、と気づかされる。

「食」「器」「衣」「住」「日用品」「工芸」「季節・行事」の全7巻。

## ○図書以外の資料

### ◎インターネット情報

・職業調べナビゲーション 未来の仕事を探せ！ [確認日：2015.01.23]

(<http://kids.gakken.co.jp/shinro/shigoto/>)

→「お仕事熱血ストーリー」のコラムでは実際に働いている人がその職業に就いたきっかけを話してくれている。

・職業図鑑 東京版 (<http://aaaaaa.co.jp/job/>) [確認日：2015.01.23]

→「〇〇に関わる仕事」から職業の選択項目を広げることができる。また、どのような資格を持っていると有利なのかということも詳しく書いてある。

## ○プラス・ワン！ \*網掛けは児童コーナーの資料

・25-6『見てみよう！挑戦してみよう！ 社会科見学・体験学習シリーズ』（全4巻）国土社

→仕事の内容だけではなく、見学に行く手順や心構えなども書いてある。見学にお勧めしたい見学ガイドもあり、身近な施設が載っているかも？！

・Y14『就活あるある 内定する人 しない人』武野光／主婦と生活社 [2013]

→就職はまだまだというあなたも、これを読んで就職の厳しさを知ってくれ！！

## ○関連施設

・キッズニア東京 (<http://www.kidzania.jp/tokyo/>) [確認日：2015.01.23]

→子どものための職業体験施設。90種類以上の仕事が体験できる。